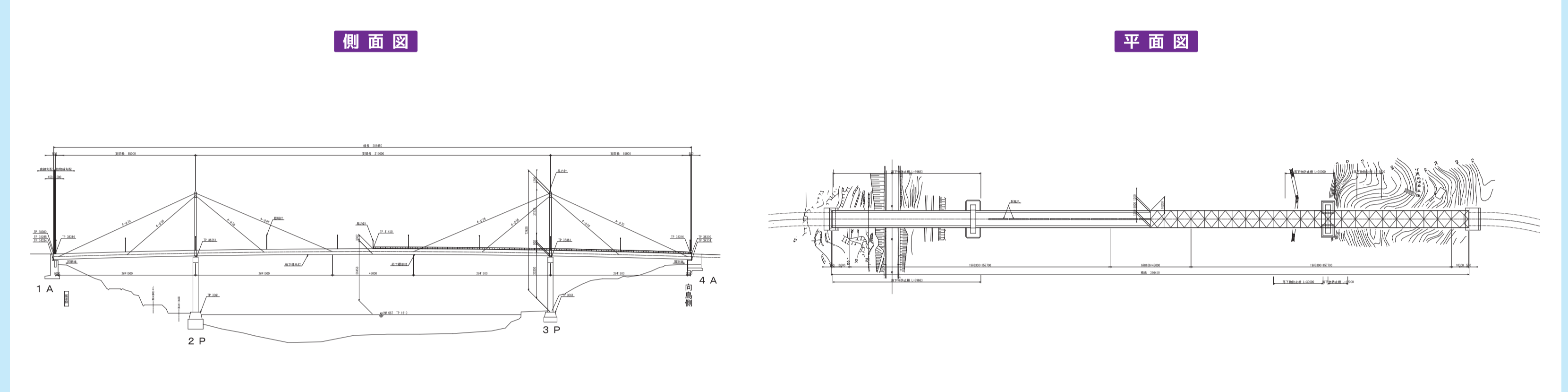


尾道大橋 橋梁補修事業



緒元

路線	一般国道317号
所在地	尾道市尾崎町～尾道市向島町(尾道水道)
完成	昭和43年3月4日(供用開始)
橋長	386.45m
最大支間長	215.0m
設計荷重	1等橋 TL-20
上部工形式	3径間連続鋼床版2主桁斜張橋
塔の高さ	72.635m(橋脚を含む)
有効幅員	8.0m
車道幅員	7.0m
桁下高さ(航路)	36.5m
塗装色	(主塔部)ハニークリーム(桁部)ノスタルジアブルー
管理者	広島県



事業期間：平成27年度～平成31年度(予定)

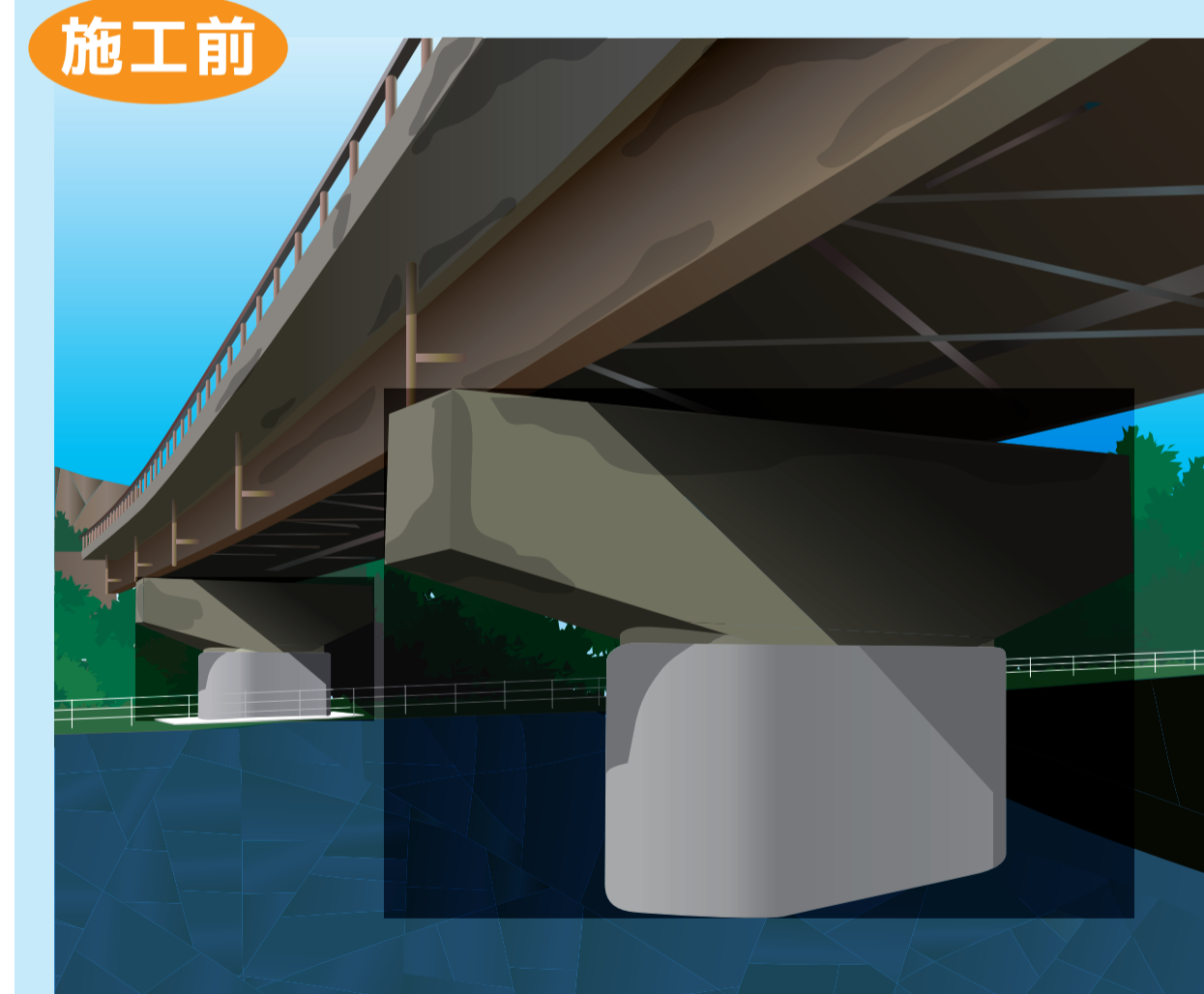
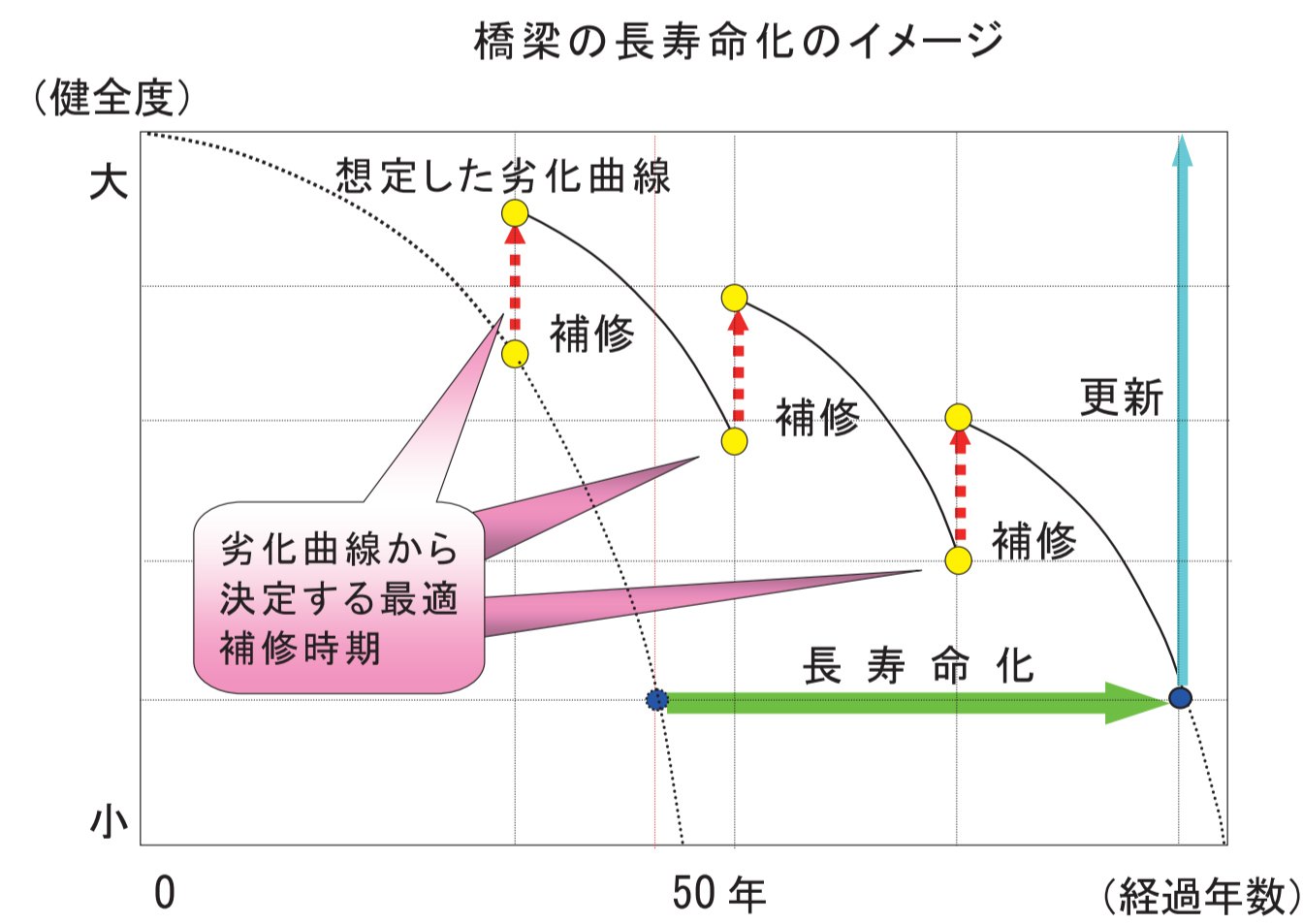
瀬戸内海のほぼ中央に位置し、平安の昔より海商港として栄えた尾道は、対岸の向島との間を幅200mほどの尾道水道で隔てた風光明媚な港町として、多くの人々を魅了してきました。

高度経済成長期に入り、尾道～向島間は造船業を中心に通勤者が激増し、容量的に限界に来ていたフェリー航路に替わる新たな交通手段として、昭和43年3月に「尾道大橋」が完成しました。

尾道大橋は国内で建設される斜張橋では初めて最大支間200mを超え、本格的斜張橋の先駆けとして一躍注目を浴びることとなりました。

尾道大橋の完成から約半世紀。

広島県では尾道大橋の長寿命化を図るため、予防保全型の維持管理を実施していくことで、地域の重要な道路ネットワークである尾道大橋の安全・信頼性を引き続き確保していきます。



広島県東部建設事務所 三原支所